

●中会のおもな動き

◇神学校主催「聖書・教理の公開講座」が行われました。

7月21日(月・休)、西宮中央教会で第2回目の講座が行われました。聖書は福音書について住谷眞牧師が、教理は三位一体論について松田真二牧師が講義を行っていただきました。それぞれが神学校で講師として講義しておられる内容をもとにして話されました。内容的にはかなり奥深いものを、凝縮した形で話されたので、少し難しかったかもしれませんが、学び、考えることへの刺激を受けるときでした。参加者は66名(教会員55名、教職11名)でした。

◇8・15講演会が行われました。

8月15日(金)、大阪北教会で行われました。講師は河島幸夫先生(西南学院大学名誉教授、政治学)でした。第1次世界大戦から第2次世界大戦にかけてのドイツの様子を中心にしながら、この世に立つ教会としての課題を話されました。強調されたのは、この世と正しく関わりながら、その中できちんと聖書と向き合い続けていくことの大切さ、そして特定の人(牧師や長老など)だけでなく、一人一人がキリスト者として生き、働いていくことの大切さでした。参加者は69名でした。

◇日韓教会青少年交流ツアー2014が行われました。

昨年、在日大韓基督教会中部地方会と日本基督教団中部教区の方々とともに、中部地区(引率:有賀文彦教師)の小・中学生・高校生を含む8名が韓国へ行き、出会いと交わりと学びの時を持ちました。韓国基督教長老会(PROK)の韓信(ハンシン)教会のお招きによるものです。

今年は、韓信教会から小・中・高校生・大学生を含む31名を名古屋に迎えました(8月4日~7日)。テーマは「ともに生きる未来を見つめて一和解と平和の主に導かれて」。

最近、日韓関係はギクシャクしています。しかし、教会はそうした問題を越えて「和解と平和の主に導かれている」ことを実体験することができました。支援のために、中会から交付金、教会や個人から多くの献金が寄せられました。お祈りをご協力を感謝します。 報告:井上一雄(名東教会牧師)

(写真:岐阜教会と名東教会が奉仕したバーベキューでのスナップ)



◇神学生懇談会が行われました。

8月25日(月)、大阪姫松教会で神学生懇談会が行われました。今年、神学生として参加されたのは、永井文(名東教会、日本キリスト教会神学校2年)、山本盾(奈良伝道所、日本キリスト教会神学校3年)、河田俊郎(西宮中央教会、関西学院大学大学院神学研究科修士課程2年)の3名でした。吉田純長老(香里園教会)の奨励のあと、食事を共にし、懇談の時を持ちました。



◇青年部修養会が行われました。

11月3日(月・休)、大阪北教会で行われました。講師は野田沢先生(日本キリスト教団「学生キリスト者友愛会」主事)、テーマは「交流の場・教会」でした。いつも、いつも“少ない”、“少ない”と言われてしまう青年たちですが、まず集まる仲間の内側を喜びで満たすことから初めながら、一人、また一人と誘い合い、関わり合っていく中で交わりが広がっていけばと改めて思うときでした。講師の「来年はこの倍の仲間で会おう」という呼びかけを受けてそれぞれの地に帰っていきました。



●教会の主な動き

◇北田辺教会牧師就職式が行われました。



12月15日(日)午後3時から、北田辺教会牧師就職式が行われました。就職された小林宏和牧師は世田谷千歳教会出身で、先の大会で教師試験に合格され、12月1日の臨時中会で教師に任職されました。藤田浩喜議長は勧告で、コリントの信徒への手紙二5:13~21から、キリストにある交わりの大切さ、和解の福音を携えてこの世に派遣されていく使者であることの意味が説かれました。式後の懇談の時には、2年半の間指導教師として関わった藤田英夫牧師、前北田辺教会牧師であった持田克己牧師、藤田浩喜議長、元北田辺教会牧師の植省三郎教師からそれぞれ祝辞が述べられ、和やかな時を過ごしました。出席者は13教会・伝道所から58名でした。

◇2015年の予定

- ▶ 連合婦人会総会 2月10日(火) 池田教会
- ▶ 2・11学習会 2月11日(水) 西宮中央教会
- ▶ 第64回定期中会 3月17日(火)、18日(水) 大阪姫松教会
- ▶ ジュニア青年部修養会 3月25日(水)～27日(金) 関西学院千川キャンプ

発行者 中会書記 藤田英夫(大阪姫松教会 電話 06-6621-0586/FAX 06-6623-0596)

中会書記ニュースは、近畿中会ホームページでも閲覧できます。

(<http://www.hi-ho.ne.jp/lisa/kinki50/>)